

氏名	前岡 千勢	女性	入院期間	2026/01/16 ~ 2026/02/24	科別	内科
生年月日	1942/10/24		主治医	水谷 和郎		
病名	廃用症候群 アルツハイマー型老年認知症		アレルギー	■ 無 □ 有		
入院中の問題点と看護実践（解決状況）、終了・継続の有無、退院指導						
<p>1月14日夕方、自宅のソファから起き上がれなくなり夫の介助でも移動困難な為、1月15日に甲南医療センターへ救急搬送。インフルエンザA陽性となり、発熱による体動困難な為入院加療を勧めたが、帰宅願望が強く帰宅の方針となった。その後の玄関入口付近で倦怠感強く動けなくなり再度救急搬送。肺炎像、意識レベルの変化なかったが、炎症値上昇、筋逸脱酵素上昇あり、長期臥床の影響による横紋筋融解症の進行を認め、入院加療となり当院へ入院となる。1月21日発熱、呼吸器症状改善し隔離解除となったが長期臥床に伴い認知機能、ADLともに低下。2月2日夫・長女に対しリハビリ見学と病状説明実施。施設入所の方針となる。車椅子全介助で移乗。3時間ほど座ることが可能。食事はセッティングし食べ始めるが途中で手がとまるため声掛けや介助が必要となる。尿意、便意の訴えなくオムツ内失禁。弄便行為やオムツ外しが見られることもある。2~3日おきに排便ある。シャワー浴は介助が必要。シャワー浴自体を拒否することもある。</p>						
継続を必要とする医療処置						
<input type="checkbox"/> 膀胱留置カテーテル		<input type="checkbox"/> 酸素吸入		<input type="checkbox"/> IVH（部位）		
<input type="checkbox"/> 経腸栄養/胃・腸瘻		<input type="checkbox"/> 血糖測定		<input type="checkbox"/> ポート留置（部位）		
<input type="checkbox"/> 褥瘡処置		<input type="checkbox"/> インシュリン				
<input type="checkbox"/> 略痰吸引						
退院時の身体状況						
1. 寝たきり度	C1					
2. 認知症判定	IIIb					
3. 食事(介助)	部分介助		声掛け、途中より介助			
4. 食事形態	主食 飯	副食 一口大				
5. 排泄(介助)	全介助		最終排便2/22			
6. 排泄(方法)	紙オムツ					
7. 移動	車椅子					
8. 清潔	シャワー浴		最終2/23シャワー浴			
9. 歯みがき	歯みがき					
10. 内服(介助)	全面介助					
11. 意思疎通	支障なし					
12. 聴力	問題なし					
13. 視力	問題なし					
14. 咀嚼	問題なし					
15. 嚥下	問題なし					
16. 麻痺・拘縮	なし					
家族の状況		病気・治療の説明と受け止め方			介護保険	
キーパーソン 柴崎 貴子		本人			■ 有 □ 無 要介護2	
感染症					既往歴	
		家族（ 子供 ） 長女				